

1. 第24回フォーラムを開催 (2023. 3. 12)

第24回山のトイレフォーラムを札幌エルプラザ・環境研修室で42名の参加者を迎えて開催しました。

テーマは「山のトイレに取り組む人たち」です。

講演はNPO法人かむい代表の濱田耕二さん。演題は「登山者が安心して登山できるトイレを維持する為にかむいが出来る事」でした。

NPO法人かむいは、2022年に大雪山赤岳の途中にあるコマクサ平に木製の携帯トイレブースを設置しました。設置許可申請から製作、資材運搬、設置、維持管理を全て民間が行う初めてのケースです。内部は広く緊急時の避難スペースとしても使えるようにし、緊急時の連絡用に無線機も配備しています。

また、維持管理を請け負っていた黒岳石室バイオトイレは、登山者に利用しやすい洋式便器への改良や狭かった携帯トイレ室内を広く開放感があるように改善しました。

さらにフォーラムでは2022年実施した沼ノ原大沼野営指定地のテント型携帯トイレブース試行設置結果について報告がありました。

当会のホームページで講演内容 (YouTube)、プレゼン資料及びフォーラム資料集を見ることができます。



講演中の濱田耕二氏

2. 美瑛富士・固定式携帯トイレブースの点検パトロール実施(2023.6.25~10.1)

北海道の山岳団体から構成する「美瑛富士トイレ管理連絡会」による携帯トイレブースの点検パトロールがスタートしてから9年目。今年は8回実施することができました。

ブース設置前と比べ、汚物とティッシュの散乱は少なく、小屋周辺はきれいに使われています。連絡会による美瑛富士のティッシュと汚物の回収数の年度推移を図に示します。

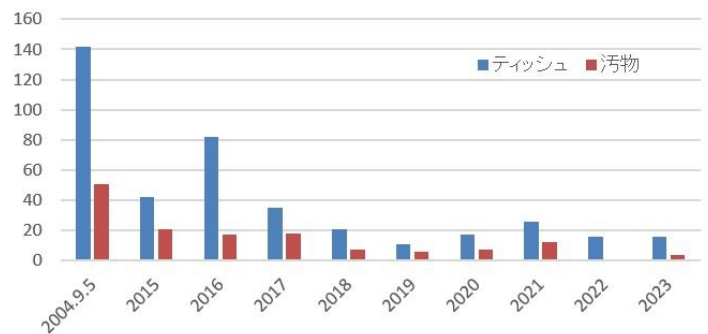
嬉しいことに植生が回復し、トイレ道も判別できないほど薄くなってきました。

〔点検パトロール実施状況〕

- ・6月25日：※ 山のトイレを考える会
- ・7月 9日：大雪山国立公園パークボランティア連絡会
- ・7月16日：札幌山岳連盟
- ・7月23日：日本山岳会北海道支部
- ・7月30日：北海道山岳連盟
- ・8月20日：道央地区勤労者山岳連盟 (荒天途中断念)
- ・9月10日：道北地区勤労者山岳連盟
- ・9月26日：北海道山岳ガイド協会
- ・10月1日：※ 山のトイレを考える会

※環境省と美瑛町のブース冬囲い (外し) にも協力

美瑛富士ティッシュ・汚物回収数年度推移



トイレ道の植生が回復してきた



ブースの冬囲いと点検パトロール (10月1日)

3. 裏旭野営指定地に携帯トイレブース設置〔環境省の効果検証業務〕

8月29日、環境省は裏旭野営指定地に携帯トイレブースを設置しました。昨年、旭岳9合目に設置したものと仕様は同じ。強風に耐えられるよう円筒形とし、冬期は解体しその場で保管、夏期シーズン始めに組み立てる方式です。旭岳周辺登山道における山岳トイレ問題の解決に向けた方向性を検討することを目的に、2022年度から3ヵ年かけて旭岳周辺登山道における携帯トイレブース設置効果検証を行う一環です。

関連した事項では、2021年に当会や当会の趣旨に賛同した山岳7団体が現地でアンケート調査を実施、報告書を公表しました。1日でも早くブースが設置されることを願っています。



裏旭野営指定地に試行設置された携帯トイレブース

そのトイレの再整備が環境省で計画されています。再整備の方式としてTSS土壌処理方式と、し尿をカートリッジに貯留して、ヘリ等で搬出する方式が検討されています。どのような方式でも、避難小屋トイレの利用者数予測値の精度が問われます。当会として設置後の維持管理も含めた意見提起を環境省や大雪山国立公園連絡協議会の山岳トイレ検討部会に対して行っていきます。

5. 日高山脈の国立公園化に向けたトイレの実態調査実施（2023.7~9）

日高山脈襟裳国定公園が2024年にも国立公園となる予定です。当会では2022年から2年間に亘って日高山脈の山小屋とトイレについて、日高山脈ファンクラブの協力を得て実態調査を実施しました。

目的は「国立公園ではきれいな小屋とトイレで登山者を迎えたい」です。

昨年は10箇所、今年は下記の4箇所について調査を実施しました。

〔2023年の調査実施箇所〕※

- ①新冠ポロシリ山荘 ②イドンナップ山荘
- ③幌尻山荘 ④芽室岳登山口トイレ

①②は新冠ポロシリ山岳会が③は平取町山岳会が町役場と連携して維持管理をしていることが分かりました。④は登山口の「山小屋芽室岳」が2016年の台風で崩壊したのですが、清水町役場が仮設トイレを設置しました。大変ありがたいことです。

※チロロ岳登山口トイレは林道崩壊により通行止めが継続、調査はできませんでした。

4. 白雲岳避難小屋トイレの再整備情報

建設してから43年経った避難小屋は2020年に建替えられ新しくなりました。トイレは1985年（S60年）に設置、38年経過している水分浸透式の自然環境を汚染続けている汲み取りトイレです。



38年経過した白雲岳避難小屋トイレ



新冠ポロシリ山荘トイレの汲み取り作業



幌尻山荘・北電取水口の携帯トイレブースと回収ボックス



芽室岳登山口の仮設トイレ

連絡先	〒004-0061
	札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18 山のトイレを考える会 事務局 電子メール：hokkaido@yamatoilet.jp